

研究の概要

助成年度・種別	2014年度 一般研究助成
研究代表者	横谷 謙次
所 属	新潟青陵大学
研究テーマ	薬事再犯者に対する施設内処遇の効果検証_認知行動療法とダルク受講者の再犯率_
研究の概要 (助成申請書の要約)	<p>再犯者の増加は日本の社会問題である。特に覚せい剤取締法等違反の再犯者（以下、薬事再犯者）は覚せい剤事犯検挙者の約6割を占めており、その再犯率は極めて高い。再犯率の高さは日本の治安悪化を招きかねず、早急な問題解決が望まれている。</p> <p>日本の刑務所では現在、薬事再犯者の再犯率を低下させるために刑務所内で特別改善指導プログラムが行われている。特別改善指導プログラムには、認知行動療法やダルクミーティングが含まれており、全国の受刑者が数多く受講している。</p> <p>しかし、これらのプログラムは数少ない例外を除けば、日本ではほとんど効果検証されていない。そのため、どういったプログラムが日本の薬事再犯者の減少に貢献しているかは未だによく分かっていない。</p> <p>本研究では、認知行動療法受講者、ダルクミーティング受講者、及び非受講者を対象に出所後1年半以内の再犯率を追跡調査する。この調査によって、再犯に有効な治療プログラムを検証する。</p> <p>この検証結果に基づいて、効果的な特別改善指導プログラムの実施が促される。効果的なプログラムは薬事再犯者の再犯率を減少させ、かつ、覚せい剤の蔓延を防止する、という点で重要な意義を持つ。</p>
選考委員からのコメント	<p>再犯者対策の内でも、薬物犯罪の再犯をいかに低減させるかについては、多くの研究が為されているが、本研究は、既に実施している受刑者への認知行動療法を踏まえダルクミーティングの効果を実証的に検討するもので、その成果への期待は大きい。</p>